

沖縄語を話す会

会の沿革

- 1987年 ・会の発足「琉球新報2001年10月13日付掲載から」

- 1988年 08/23 ・東京沖縄芸能保存会本部会場（菊名）で船津好明さんの出版を祝う会が開かれた。著書「美しい沖縄の方言」
その席で、若い人たちにも出やすい企画が提案された。
（沖縄ぐちぬ会）準備会
月刊おきなわの声「1988年9月15日付掲載」
沖縄タイムス「1988年8月29日付にも掲載」

- 1989年 05/22 ・「沖縄ぐち会話練習会」がスタートした。
勉強会場：東京沖縄県人会青年部事務所（中野）
- 1989年 10/07 ・「^{うちなーぐち}沖縄口日常会話練習会」（仮称）
勉強会場の変更：那覇市東京事務所（全国都市会館内）へ

- 1993年 ・会の名称及び、勉強会場の変更
会の名称：「沖縄語を話す会」
勉強会場：品川区大崎「東和大崎コープ312号室」
月刊おきなわの声「1993年5月15日付掲載」
- 1993年 08/20 ・沖縄語辞典の再発行を文化庁、国立国語研究所、大蔵省印刷局に陳情。その後実現。

- 1995年 ・勉強会場の変更：三軒茶屋「首里古都」へ

- 2001年 10/06 ・勉強会場を再び変更：品川区大崎「東和大崎コープ312号室」へ

- 2003年 ・沖縄文字のパソコンへの導入及び通信実験
（その後、レジメや会報はすべて沖縄文字を採用する。）

- 2004年 03/31 ・会報発行「沖縄語かわら版」創刊号（会の活動を広くPRと同時に会員の発表の場を作る。）
・沖縄各地の学習サークルと交流を始める。沖縄文字によるパソコン通信も始める。

- 2006 年 ・「沖縄語を話す会」ホームページ開設（会の活動を広く PR）
 これまでに発表した論文や、会報、新聞記事など掲載

- 2008 年 03/31 ・（沖縄県しまくとぅばの日に関する条例が公布される）
- 2008 年 ・沖縄文字が大学の講義で使われた（沖縄キリスト教短期大学）
 琉球新報「2008年7月22日付掲載」
 沖縄タイムス「2008年8月5日付掲載」
 朝日新聞（夕）「2008年9月2日付掲載」
- ・沖縄語教育支援文庫ホームページ開設（教材のダウンロード可能
 に）
 沖縄タイムス「2008年9月21日付掲載」
- ・NPO法人「沖縄県うちなあぐち会」が沖縄文字の採用を始
 める。
 機関誌「ゆんたくひんたく」は15号から、「しまくとぅば新聞」
 は創刊号から。

- 2009 年 ・会報第12号が沖縄キリスト教短期大学の講座で活用された。

- 2010 年 09/29 ・「沖縄口さびら」船津好明著 琉球新報社から発行

- 2011 年 09/03 ・会員増大によりスタッフの強化

- 2012 年 03/25 ・創立25周年記念パーティー開催
 「創立25周年記念号」会報第16号発行

- 2015 年 09/01 ・関連組織との連携を強化（09/07付組織連関図を参照）

沖縄語を話す会事務局
 2012年3月25日
 2015年9月14日 更新